

トピックス

「夜空を彩る大輪の華と
清々しい早朝ボランティア」

～ 京三電機株式会社 ～

～日本の夏の風物詩、花火大会とボランティア活動～

京三電機のある茨城県古河市において古河花火大会が開催されている。ワイドスターメイン、仕掛花火といった鮮やかな花火に加え、関東地方では珍しい三尺玉が打ち上げられ、夜空一面に広がる大輪の華は毎年大勢の観客を魅了する。昨年は震災により自粛したが、今年は打ち上げ総数が関東最大級となる約2万5千発と盛大に開催される予定だ。

会場の、わたらせ遊水地は、様々なドラマや映画、古くは人形劇で紹介されている南総里見八犬伝の始まりの場所である古河城の近隣となる。八個に散った数珠玉を現在では夜空に光輝く花火で表現されていると言ったら言いすぎだろうか？

首都圏の様々な厳しい規制の中で行われている花火大会しかご覧になっていない方には、是非お薦めしたい。



開催日時 8月4日（土）雨天時は翌日：午後7時20分～8時50分
 開催場所 茨城県古河市 古河ゴルフリンクス（渡良瀬川河畔）
 交通アクセス JR宇都宮線古河駅西口より徒歩20分
 URL HP <http://www.city.ibaraki-koga.lg.jp>

京三電機は会社創立の地であり、地元企業として長くこの大会に協賛してきた。数年前より社会活動の一環として大会翌日の早朝に行われる清掃活動にも協力している。大会後の会場は観客の残したゴミだけでなく、花火の燃えカスが一面に広がっている。地元ボランティアの方々と一緒に、拾い集めたゴミの量は一人あたり数キロ！終わった後は汗びっしょりとなるが、早朝のすがすがしい空気を深呼吸し元通りにきれいになった河川敷を見ればその苦労や疲れは吹き飛んで行く。



巨大キノコ発見！？いえ、これは花火の燃えカスの一部です

清掃風景：翌日早朝6時より約3,000名のボランティアが清掃を行った。

京三電機から約150名の社員が参加。